難聴学級ベルだより

2026年（令和8年）5月25日
福山市立西幼稚園

コミュニケーション手段は様々あります

聴覚障がいをもつ人とのコミュニケーションの方法の一例
①口　話・・・口の形と音声で表現します。相手の口の動きを読み取って（読唇）、相手の言いたいことを理解するので、顔を見ながら話すことでより伝わりやすくなります。
②手　話・・・手の形と動き、からだの動きで表現します。
③指文字・・・５０音「あ」～「ん」までの指文字があります。
④筆　談・・・紙に書いてやりとりします。
⑤空　書・・・空間に指で文字を書いてやりとりします。
⑥身振り・・・体の動きで表現します。（ジェスチャー）

★聴覚障がいのこどもたちは、このような方法でコミュニケーションの楽しさを感じていきます。西幼稚園では、生活の中で手話や指文字を活用しています。共に過ごすなかで、健聴児も自然と手話や指文字を理解したり使ったりする姿があります。お互いのことを分かり合うことで、コミュニケーションも楽しくなっていきます。

表現するってたのしい！

幼稚園では手遊びや歌、ダンスやリズム遊びなどの音楽的な遊びを楽しんでいます。これらの遊びも表現遊びの一つであり、いろいろな表現方法があることやその楽しさを感じてほしいと思っています。そのなかで聴覚障がいのこどもたちは、たくさんの音が重なると歌詞や音程、リズムなどが捉えにくく、そのような遊びに対して難しさや不安を感じることがあります。

西幼稚園では、歌の活動では歌のイメージがもてるように視覚教材を用いたり、歌の歌詞に合わせて手話や体の動きなどを取り入れたりしながら自分なりに歌詞の意味やリズム、メロディーの楽しさがわかる経験を大切にしています。

遊びの中でいろいろな表現を楽しみながら、自分の思いや考えが伝わる心地よさやコミュニケーションの楽しさを味わってほしいと考えています。





